

ミニバス足利杯の開催によせて
足利市バスケットボール協会
会長 井上 隆之

第17回ミニバス足利杯の開催、誠におめでとうございます。

この大会が今年も華やかに開催されますのも、ミニバス学童部・大会役員の皆さま、協賛を頂きました企業関係者の皆さま、そして参加頂いたチームのスタッフ・保護者さまのご協力の賜物であると厚く感謝申し上げます。

さて、今年は「栃木ブレックス」がBリーグ元年を制して初代王者に輝き、6月には優勝記念パレードが行われるなど、本拠地である宇都宮市を中心にバスケットボールが一気に盛り上がりました。そこから少し離れた足利市ではありますが、高校女子では「白鷗大学足利高校」が11月に行われた「全国高等学校バスケットボール選手権大会栃木県予選会」を制して、見事に全国大会（ウインターカップ）出場を果たしてくれました。

こうして活躍している選手の多くが、バスケットボールの技術や知識をミニバスで初めて習得しており、そうした意味ではミニバス指導者の方針や手法によって、選手一人ひとりの「感性」が築かれていると言っても過言ではありません。

指導者の皆さまにおかれましては、自分の想念がチーム全体にしっかり伝わっているか？選手一人ひとりに正しい技能と知識を伝え理解を得ているか？時には初心に戻って自分を見つめ直して頂き、先々までバスケットボールを楽しみ追い続ける選手を育てて頂きますよう、日頃からのご指導を宜しくお願い申し上げます。

なお今年度「足利市バスケットボール協会」は役員改選により、新執行部で新たなスタートを切りました。経験不足で至らないところが多々あるかと思いますが、足利市でバスケットボールに携わる皆さまのために、全力を傾注いたす所存ですので、何卒ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。